

# 企業強みの研究

## 鉄道車両部品から食品加工設備フレームまで 熟練の板金技術を多用途に広げる。



株式会社シンクス

充実した加工設備と広い工場で  
さまざまな金属材料を多方面に加工

メタルシート(金属板材)の切断や穴あけ加工をこなすレーザー加工機。ホルダーに配列された金型を使って多様な形状の打ち抜き加工ができるタレットパンチプレス機の機能を併せ持つパンチレーザー複合機をはじめ、高精度で効率的に金属加工を行える自慢のマシンが広大な工場にずらりと並んでいる。段取り替えやワーク(加工中の材料)の持ち運びに動きまわるマシンオペレーターの動線も遮られることがない。

株式会社シンクスは守山市の古高工業団地にある。業態は精密板金加工。1992年の設立時から約1万3千㎡もの広々とした敷地に延べ床面積4千㎡の本社工場を構え、大きなサイズのメタルシート加工が求められる用途向け



飲料用無菌充填機用ボックスを製造

晃工作所に始まる。当初から鉄道関係の部品を手掛けてきたが、それまで参入障壁となっていた許認可制が87年の国鉄民営化に伴って緩和され、鉄道市場に激しい競争状況が生じるようになった。当時の経営者だった父(富原正修会長)はこのピンチに際して、逆にこれをチャンスに変えるため思い切った先行投資を、と考えたようだ。広い工場と充実した設備を持ち新規分野を開拓しよう。その決断から、古高工業団地内に関連会社の形でシンクスを設立。町工場のような鉄工所から大きく生まれ変わることができた。

溶接の奥深い技術と

短納期への対応力も強みだ

正修会長が決断した先行投資とその後の営業努力が、現在の広がりある業態として実を結んだ。もちろん、それを底で支えたのは、長く磨き抜いてきた板

で、特色を打ち出してきた。

「私どもができることは、板材をレーザー加工ラインで所定寸法に切断したり、プレスブレイキを使って曲げ加工を行ったり、打ち抜きや穴あけ加工を施すといった、一般的な板金加工業者ならどこでもできることばかり。だが、充実した工作機械設備と工場の広さを誇り、その優位性を存分に生かしながら、仕事の幅を多方面に広げてきた」。富原史享社長が話すように、シンクスが取り扱う加工部品の用途は幅広い分野にわたっている。

ピンチをチャンスに転じた  
思い切った先行投資

鉄道車両の床下部分を構成する長尺の部品。マシンングセンタなど工作機械の内部機構を保護する金属カバー。半導体製造用の洗浄装置向け部品。清涼飲



道路情報表示板の製造工程

金加工全般にわたる熟練の技術力だ。富原社長が特にアピールするのは、接合技術の奥深さ。同社が得意な大きな寸法ものを作る際、複数の部材を接合する溶接は不可欠だが、鉄道や食品向け部品では溶接箇所の仕上げ精度に対する要求がとりわけ厳しく、どこでも対応できるわけではない。

特に難しいのが、「溶け込み」と表現される高い溶接技術と、部材が持つ小さな歪みを取り除く手法。卓越した技

料水のペットボトル

詰め工程をはじめとする食品製造ライン向けカバーなど。高速道路等に設置される道路情報表示板。こういった多様な業界向けに部品加工を手掛けていて、各分野の売上高比率はほとんど均等に分散。それぞれの分野を代表する大手メーカーから直接受注しているが、特定の一社に依存しすぎることがない。こうした分散型の企業体質は景気変動の影響を比較的受けにくいといえるだろう。

このような強い企業体質をどのよ



曲げ加工に用いる5m幅のプレスブレイキ。350トンの圧力をかけられる

が必要だが、シンクスの溶接部門のほぼ全員がクリアできるという。「理論的に説明できないが、経験というか受け継がれてきたノウハウが息づいていると感じる」。

新しい分野の受注をつかむうえで強みにしてきた「短納期への対応力」も現在に受け継がれている。日々、何百という案件が同時進行するシンクスの工程管理は鉄道ダイヤを組むように複雑だが、長期にわたって短納期に対応してきた現場スタッフの知恵と小さな工夫の積み重ねによってスムーズに進んでいる。「この納期で無理を聞いてもらえるのは御社しかない」と持ち込まれる案件も少なくないという。

取引を始めたきっかけは  
メーカーからのアプローチ

車両部材ではスチールを、食品や半導体向けではステンレスを扱うほか、道路

充実した設備とキャパシティのある工場というハード面。

そして、磨き上げた技能というソフト面の両輪で

難しいニーズにもお応えできるよう努めてまいります。

皆さまの課題をお寄せください。

### Profile

#### 株式会社シンクス

- 本社/守山市古高町670-13
- 設立1992年
- 資本金/5,000万円
- 従業員数/47名
- 事業内容/一般機械用精密板金加工



代表取締役社長  
富原 史享氏(写真中央)  
営業部長  
小辰 信人氏(写真左)  
製造部長  
東郷 武司氏(写真右)

### Voice

充実した設備とキャパシティのある工場というハード面。そして、磨き上げた技能というソフト面の両輪で難しいニーズにもお応えできるよう努めてまいります。皆さまの課題をお寄せください。